

平成 26 年度工学系共通経費による顕彰と研究助成 成果報告書

所 属	材料工学専攻
研究者(ふりがな)	史 蹟 (し せき)
タイトル	2014 東京工業大学-大連理工大学材料工学合同ワークショップ
助 成 名	AOTULE 加盟大学以外のアジア・オセアニアの大学との教育研究連携助成
採択金額	750,000 円
<p>背景と目的</p> <p>本学の材料工学専攻(金属分野)は大連理工大学の材料科学と工程学院と部門間の教育・研究協力に関する協定を結んでおり、この協定は、双方の研究に関する情報および成果の交流、共同研究の推進、大学院生育成への協力を目的の1つであり、さらに、本学側が大連理工大学金属材料系学部の日本語強化クラスにおける教育について支援することが大きな特徴になっている。両部門間に良好な関係を築き、情報・研究成果の交流活動を円滑に進めるため、定期的にワークショップを開催することにも合意した。今回まであわせて東京で3回、大連で3回開催し、両大学から多くの教員・大学院生が参加し、研究成果の発表や、教員・学生間の交流を行った。それ以外に研究室見学や、工場見学もアレンジし、双方に対して、材料教育、研究、生産の現状を知る機会を提供してきた。今回はその交流活動の一環として行った。</p>	
<p>実施概要</p> <p>「2014 東京工業大学-大連理工大学材料工学合同ワークショップ」は2014年10月24日から26日まで大連理工大学で開催された。東工大側から7名の教員と10名の大学院生が参加した。大連理工大学側は教員10名、学生20名程度が参加した。</p> <p>ワークショップは、両大学の数名の教員と大学院学生による研究成果の発表および討論を行った。特に大学院生は口頭とポスター両方で発表した。</p> <p>具体的な日程は以下のようであった。</p> <p>10月24日： 移動、夕方材料学院日本語強化クラスの学生との交流会を行った。</p> <p>10月25日： 終日ワークショップ</p> <p>10月26日： 東工大の教員、学生が帰国</p>	

国際連携用

本年度の成果

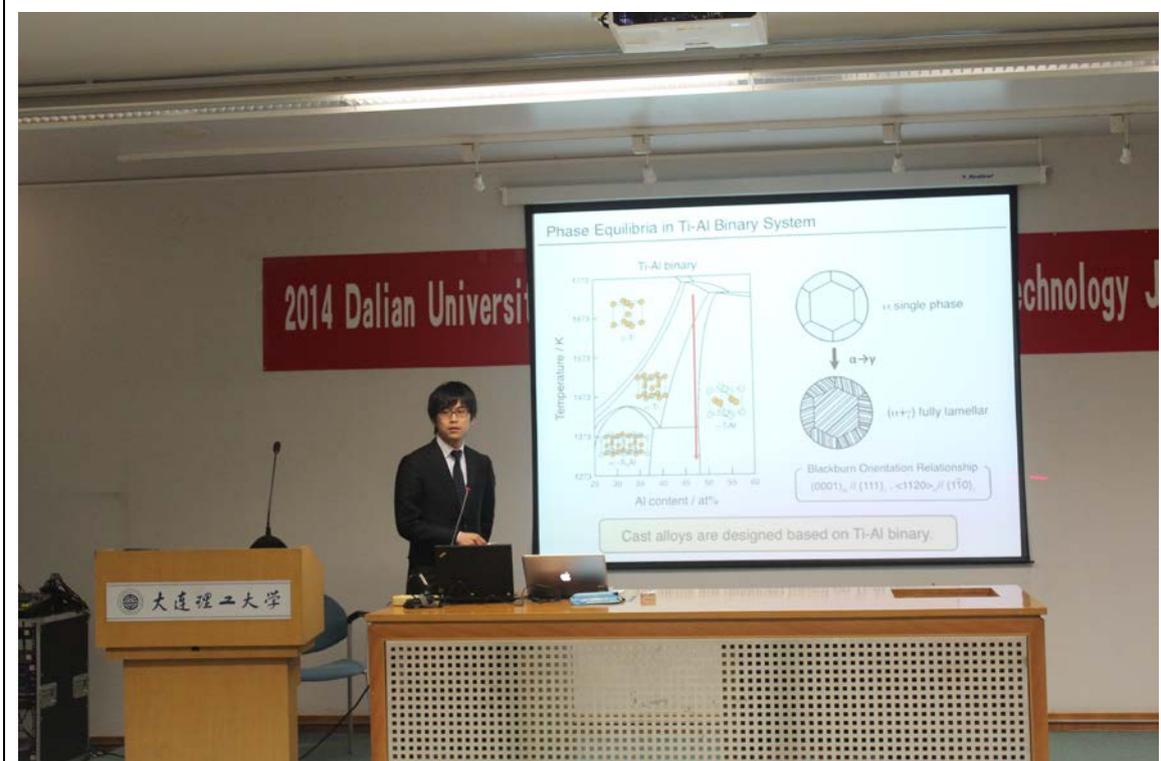
1. 今回の合同ワークショップを通じて、両大学の教員、大学院生によって、研究成果の交流を行って、両サイドの連携をさらに強化された。
2. ワークショップ期間中に材料学院の日本語強化クラスとの交流を行って、東工大の留学制度などについて説明した。
3. 国際大学院プログラムの面接を行った。
4. また、交流の成果として、平成27年度の国際大学院プログラムに、数名の大連理工大学材料学院の学生が応募し、2名合格した。また、今年3月に金属工学科の3年生5名を大連に派遣し、大連理工大学で交流活動を行った。



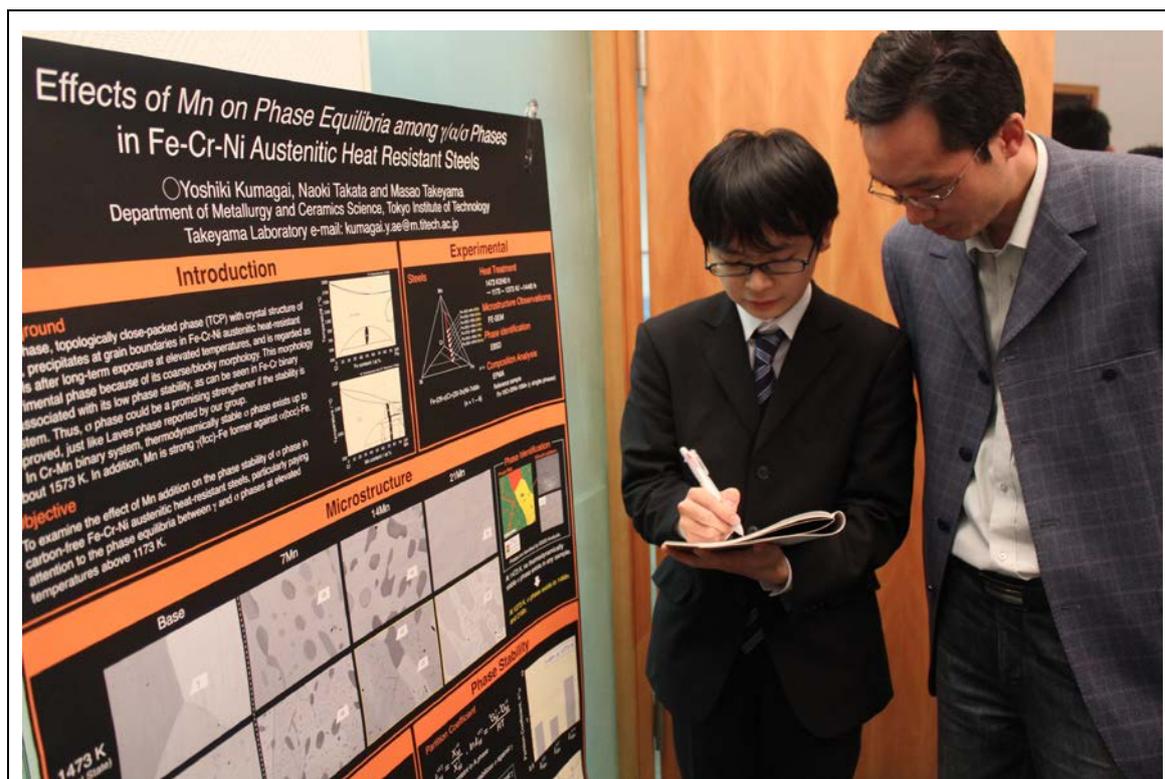
講演する特任教授水流先生



講演会会場



講演会会場



ポスター発表会場



ポスター発表会場



集合写真

使用内訳書

費目	内訳	金額
備品1		
備品2		
消耗品	ポスター印刷用紙など	50 千円
旅費	学生7名派遣の旅費	700 千円
その他		
合計		750 千円

記入上の注意：

備品は、品名ごとに記入。

差額が生じた場合は、消耗品で調整。

消耗品を購入しなかった場合は、経費の差額と補填した予算科目名を合計額の内訳欄に記入。